

令和3年度(2021年度)用

小学校社会科用

「新しい社会」 年間指導計画作成資料 【4年】

【注】令和2年度の第4学年では、新課程教科書は供給されず、今年（令和元年）度の第3学年で供給される3・4下の教科書と令和2年3月に配布される予定の補助教材を併用して指導します。

こちらは、令和3年度以降の、新課程教科書を使用した年間指導計画作成資料です。令和2年度につきましては、別掲の令和2年度用の年間指導計画作成資料をご参照ください。

令和元年（2019年）7月19日版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	わたしたちの県(オリエンテーション)		教科書のページ	p.8~9
配当時数	1時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容 (1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
・知っている都道府県を地図帳でたしかめよう p.8~9	1	①地図帳を活用し、自分が住んでいる県の位置を確認する。 ・自分が住んでいる県の位置 ②地図帳や各種資料を活用し、いろいろな都道府県の名所や特産品について調べたことを発表したり、知っていることを紹介したりする。 ・我が国が47都道府県で構成されていること ・各都道府県の名所や特産品	[思判表]ノート、発言
		めあて わたしたちが住む県の位置や特色、各地の人々の暮らしについて、地図や資料を使って、調べてみましょう。	

小単元名	日本地図を広げて		教科書のページ	p.10～15
配当時数	2時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容 (1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本地図を広げて			
<ul style="list-style-type: none"> 日本の都道府県について、それぞれの名前と場所を調べ、白地図にまとめてみましょう。 <p>p.10～15</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①p.10～15 の3つの日本地図や、特産品や地形などのテーマごとに整理されている47都道府県カードや地図帳などを活用して、各都道府県の名称と位置について調べ、白地図にまとめる。 ・47都道府県の名称と位置 	[知技]白地図

小単元名	1. 県の広がり			教科書のページ	p.16～31
配当時数	8時間	活動時期	4～5月	学習指導要領の内容	(1)アイ

小単元の目標		都道府県の様子について、我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現することを通して、自分たちの県の地理的環境の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについて地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の様子を理解している。 調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの県の地理的環境の概要を理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、問いを見いだし、県の様子について考え表現している。 県の位置や県全体の地形、主な産業、交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 県の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 日本の中の宮城県			
<ul style="list-style-type: none"> つかむ わたしたちの住む宮城県について話し合い、学習問題をつくりましょう。 <p>p.16～17</p>	1	①地図帳を活用し、自分たちの県や周囲の様子について知っていることを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 宮城県のまわりには、岩手県、秋田県、山形県、福島県がある。 蔵王山などの山がある。 新幹線や地下鉄が通っている。 ②自分たちの県のどのようなことを調べたいか、話し合い、学習問題をつくる。	[思判表]ノート、発言
		学習問題 わたしたちの県の地形や都市の位置、交通、産業には、どのような特色があるのでしょうか。	
(2) 学習の進め方			
<ul style="list-style-type: none"> 学習問題をつくり、学習の進め方をかくにんしよう。 <p>p.18～19</p>	1	①小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。 <p>学習問題について、予想を立て、実際に見学したり、インターネットやガイドブック、写真や地図、他校への手紙などで調査したりして、自分たちの県について調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習の進め方をおさえる。 	[思判表]ノート、発言

(3)宮城県の地形			
<p>・調べる 宮城県では、どのような地形が見られるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.20～21</p>	1	<p>①県の衛星写真や地勢図を見て、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって地形が違う。 <p>②県の地形について調べ、白地図などにまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の西の方は、山が多い。 ・島や半島もある。 ・北上川や阿武隈川が流れている。 	[知技]白地図, 発言
(4)宮城県の土地利用の様子			
<p>・調べる 宮城県では、地形によって、どのように土地が使われているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.22～23</p>	1	<p>①県の土地利用図や写真、地勢図などを見て、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低い土地と高い土地では、土地の利用のしかたが違う。 ・仙台市は市街地が多い。 <p>②県内の土地がどのように利用されているか、調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の東側の低い土地では米を作るための田が広がっている。 ・蔵王町の蔵王連峰には、スキー場がある。 	[知技]白地図, 発言
(5)宮城県の市や町, 村			
<p>・調べる 宮城県には、どこにどのような市や町, 村があるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.24～25</p>	1	<p>①地図帳を活用して、わたしたちの市や町, 村が県内のどこにあるか、調べる。</p> <p>②県内の主な市や町, 村の名前, 位置, 人口などを調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在地は仙台市である。 ・雄勝すずりで有名な石巻市雄勝町は県の東側にある。 ・美しい景観で有名な松島町は、太平洋に面している。 	[知技]白地図, 発言
(6)宮城県の交通の広がり			
<p>・調べる 宮城県の交通は、どのように広がっているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.26～27</p>	1	<p>①県内の主な道路や鉄道の広がり, 港や空港などの位置, 陸海空の交通網の特色について調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道があり, 南北の移動が便利。 ・仙台市の近くには空港や港があって, 大阪, 福岡, 韓国や台湾などと結ばれている。 	[知技]白地図, 発言
(7)宮城県の主な産業			
<p>・調べる 宮城県には、どこにどのような産業があるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.28～29</p>	1	<p>①県内には、どこにどのような産業があるか調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市, 気仙沼市では, 水産 	[知技]白地図, 発言

		業がさかんである。 ・大崎市，栗原市，登米市では，米づくりがさかんである。 ・白石市，蔵王町，大崎市などではこけしづくりがさかんである。	
(8) 県の特徴をまとめる			
・まとめる 調べたことをもとに，宮城県の特徴について話し合みましょう。 <p style="text-align: right;">p.30～31</p>	1	①これまでに調べたことをもとに，県の特徴についてまとめ，話し合う。 ・自分たちの県の位置，県全体の地形，主な産業の分布，交通網，主な都市の位置を整理する。 ・県の東側では水産業がさかん。地形や自然を生かした観光に力を入れている地域もある。 ・仙台市を中心に東西南北に交通が広がっている。空港もあり，遠くの県や外国にも行くことができる。	[思判表]白地図，ノート，発言 [態度]白地図・ノート・発言

単元名	住みよいくらしをつくる(オリエンテーション)		教科書のページ	p.32～33
配当時数	1時間	活動時期	5月	学習指導要領の内容 (2)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
<ul style="list-style-type: none"> だれが何をしているか，絵を見て考えてみましょう。 <p>p.32～33</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書のイラストを見て，まちの中で，住みよいくらしをつくるためのしくみや人々の働きをさがし，これらの事業について話し合う。 ・まちには，水道やごみの処理などにかかわる仕事をする人がいるから生活できる。 	[思判表]ノート，発言
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて わたしたちのまちの健康で住みよいくらしをささえているしくみや人々の働きを調べてみましょう。 </div>			

小単元名	1. 水はどこから			教科書のページ	p.34～51
配当時数	11 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		飲料水を供給する事業について、供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、学習したことを基に自分たちに協力できることを考えようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見だし、飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。 飲料水の供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付け、飲料水の供給のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水を供給する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わたしたちの生活と水			★他教科との関連:算数
<ul style="list-style-type: none"> つかむ わたしたちは、水をどのように使っているのでしょうか。 <p>p.34～35</p>	1	①写真を見て、生活の中で水を使う場面を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 学校のプールでたくさん使う。 学校の水道で手を洗う。 工場や米づくりなどの農業でも利用する。 ②市の人口の変化のグラフと市の給水量の変化のグラフをくらべてわかったことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 市の人口は増え続けている。 給水量も増えている。 ある時期から給水量の増え方が小さくなり、最近では給水量が減っている。 	[思判表]発言
(2) わたしたちが使う水はどこから			
<ul style="list-style-type: none"> つかむ わたしたちが使う水はどこから送られてくるのか考え、学習問題をつくりましょう。 <p>p.36～37</p>	1	①水の通り道のイラストを見て、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 水はダムから川を流れてくる。 	[思判表]ノート

		<ul style="list-style-type: none"> 川にはたくさんのじょう水場がある。 じょう水場から水道管を通過して学校や家庭に届けられる。 <p>②水道メーターや水道管を観察して気づいたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道管は川とどこでつながるのかな。 <p>③疑問に思ったことをもとにして学習問題をつくる。</p>	
		<p>学習問題 わたしたちの生活に欠かせない水は、どこでどのようにきれいにされ、送られてくるのでしょうか。</p>	
		④学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方について話し合う。	
(3)(4) きれいな水をつくる			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる じょう水場では、どのようにして、水をきれいにしているのでしょうか。 <p>p.38～39</p>	2	<p>①三野浄水場の写真や岡山市の浄水場の分布図を見て気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の近くにある。 プールのようなものが多く並んでいる。 周囲の建物とくらべるとかなり広い。 <p>②川の水を飲料水にするまでの浄水場のしくみを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の水の中にある砂やごみを取り除く。 薬も入れる。 コンピューターを使って水の管理をする。 	[知技]ノート
(5)(6) 安全できれいな水をつくるために			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる じょう水場では、安全できれいな水をつくるために、どのようなことをしているのでしょうか。 <p>p.40～41</p>	2	<p>①安全できれいな水をつくる取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 浄水場から送る水に、濁りやばい菌がないか水質検査をしている。 検査には新しい機械も使っている。 <p>②昔と今の水の入手方法のイラストや水道の歴史年表などから、浄水場などの水道施設の役割について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔は川や井戸の水を使っている。 水質の問題で病気になったり、水不足が起きたりしている。 	[知技]ノート
(7) ダムの働き			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる ダムは、どのような働きをしているのでしょうか。 <p>p.42～43</p>	1	①湯原ダムのある場所（蒜山高原）と岡山市の場所を地図で確かめ、降水量のグラフをく	[知技]ノート

		<p>らべてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県では，上流の方が雨の降る量が多いので，上流にダムをつくった。 <p>②ダムの分布図から，どのような場所にダムがあるのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上流や山の多いところにダムがある。 ・高梁川，吉井川にもダムがある。 <p>③ダムにはどのような働きがあるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水不足にならないように必要な時に水を流している。 	
(8) 森の働き			
<p>・調べる 森は，どのような働きをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.44～45</p>	1	<p>①旭川の源流がどこにあり，森林はどのように広がっているのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県の大きな川の上流には水源の森が広がっている。 <p>②水源の森の役割について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森は水をためるので「緑のダム」とも呼ばれている。 <p>③水源の森を守る取り組みについて調べてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林のある山は，豊かな栄養を含み澄んだおいしい水を生み出す力がある。 ・水源の森を守るために，役場の人や下流の岡山市の水道局の人々が協力しながら木を植えている。 	[知技]ノート
(9) 水のじゅんかんについて考える		★他教科との関連:理科	
<p>・調べる 生活に使った水は，その後どうなるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.46～47</p>	1	<p>①学校や家庭で使った水は，その後どうなるのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのまま川に流すと汚くなるので，下水処理場できれいにされて川に流される。 <p>②水の循環のイラストを見ながら，水とわたしたちの生活とのつながりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川や海，地上の水はやがて雨となり，水源の森やダムに蓄えられる。 ・水は大切なので，きれいに流したり，繰り返し使ったりしている。 	[知技]ノート

(10) 水の流れをまとめる			
<p>・まとめる 水はどのようにつくられ、送られてくるのかをまとめてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.48～49</p>	1	<p>①学習問題を確認した上で、説明文を加えながら水が送られてくるまでの流れを図に整理する。</p> <p>②「水はどのようにつくられ、送られてくるのか」について話し合う。</p> <p>③いろいろな場所を比較して、その特色を話し合う。</p>	<p>[知技]図，説明文 [思判表]図，説明文</p>
(11) 大切な水のために			
<p>・いかす かぎりある水を使い続けるために、自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.50～51</p>	1	<p>①これまで学習したことを生かしながら、「自分たちにできること」を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きやシャワーを使う時に節水に気をつける。 ・水について学習したことを発表する。 ・地域の環境を守る活動に参加する。 	<p>[思判表]ノート [態度]ノート</p>

小単元名	2. ごみのしよりと利用			教科書のページ	p.56～73
配当時数	12 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)ウ, イ-(イ)

小単元の目標		<p>廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、学習したことを基にごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする。</p>
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見だし、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 ・廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) ごみを分別する			
<ul style="list-style-type: none"> ・つかむ 家では、ごみをどのように出し、出されたごみは、どのようにしゅう集されるのでしょうか。 <p>p.56～57</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭のごみの出し方を話し合う。 ・ごみを種類ごとに分けて出していて、種類によって出す日がちがう。 ②種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。 ・燃えるごみが一番多い。 ・ごみの分別は大変だけど、とても大切なことだと思う。 ③ごみ置き場の看板を見て、気づいたことを発表し合う。 ・種類ごとに出す曜日が決まっている。 ・ごみの出し方には細かいきまりがある。 	[思判表]発言
(2) ごみのゆくえ			
<ul style="list-style-type: none"> ・つかむ ごみのゆくえを考えたことを通して、学習問題をつくりましょう。 <p>p.58～59</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみのゆくえを考えながら、学習問題をつくる。 ・収集されたごみはどこに運ばれ、どのように処理されるの 	[思判表]ノート

		<p>だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理の方法は種類ごとに違うのかもしれない。 	
		<p>学習問題 分別して出され、しゅう集されたごみは、どのようにしてしゅりされるのでしょうか。</p>	
		<p>②学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃工場を見学して、燃えるごみの処理のしかたについて調べてみたい。 ・調べたことはカードにまとめ、友だちに発表する。 	
(3)(4) もえるごみのゆくえ		★他教科との関連: 国語	
<p>・調べる せいそう工場では、ごみをどのようにもやしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.60～61</p>	2	<p>①清掃工場を見学して、わかったことをノートに整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなクレーンや焼却炉がある。 ・1日に約 300 トンのごみを燃やしている。 <p>②燃やした後に残った灰のゆくえについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別の場所に埋め立てられるのではないかな。 ・再利用されるのではないかな。 	[知技]ノート
(5)(6)もやした後のくふう			
<p>・調べる ごみをもやした後のくふうには、どのようなものがあるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.62～63</p>	2	<p>①ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処分場には環境に配慮した様々な工夫がある。 ・灰の一部はエコスラグとなって生まれ変わり、道路工事などに利用される。 <p>②ごみを燃やした時の熱をどのように利用しているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温水プール ・温泉 	[知技]ノート
(7)(8) ごみが生まれ変わる			
<p>・調べる しげん物やそ大ごみは、どのように再利用されているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.64～65</p>	2	<p>①資源物や粗大ごみのリサイクルについて、リサイクル施設を見学して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源物の選別はとても大変だ。 ・ペットボトルは服や再生ペットボトルなどに生まれ変わる。 ・粗大ごみも使えるものは修理して再利用される。 <p>②身のまわりにリサイクルされて使われているものがないかを考え、発表して話し合う。</p>	[知技]ノート

		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車 ・服 ・たんす 	
(9) ごみしよりがかかえる問題			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる ごみしよりがかかえる問題を、市はどのようにかいつしよとしているのでしょうか。 <p>p.66～67</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①「ごみしよりのうつり変わり」のイラストと、「市の人口の変化」のグラフを関連付けて、考えたことを発表し合う。 ・昔は、ごみを燃やしたり埋めたりしていた。 ・ごみの処理にかかわる問題について、市は計画的に取り組んでいる。 ②ごみの処理が抱える新しい問題について調べ、わかったことを発表し合う。 ・分別に協力しない人がいる。 	[知技]発言
(10) ごみしよりのくふう			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる ごみをへらすために、わたしたちのまわりでは、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 <p>p.68～69</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみを減らすために、家庭・学校・商店・地域がそれぞれどのような取り組みを行っているかを調べ、発表し合う。 ・家庭では、ごみの分別をしている。 ・学校では、ごみの減量に努めている。 ・商店では、エコバッグの利用を勧めている。 	[知技]発言
(11) ごみのしよりについてまとめる			
<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる ごみのしよりについてわかったことや考えたことをカードにまとめ、発表してみましよう。 <p>p.70～71</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①「まなび方コーナー」の手順にしたがって、これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。 ・ごみを減らすことが必要だ。 ・自分にできることはあるのだろうか。 ②自分の考えをノートにまとめる。 ・ごみの処理にはいろいろな工夫がある。 ・ものを大切にすることがごみの減量につながる。 	[知技]カード [思判表]カード
(12) 自分たちにできることを考える			
<ul style="list-style-type: none"> ・いかす ごみをへらすために、自分たちにできることを考えてみましよう。 <p>p.72～73</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみを減らすために自分たちにできることを考え、発表し合う。 ・買い物の手伝いをするときには、エコバッグを使いたい。 ・家でごみの分別をするときには手伝いたい。 ・地域の人がごみ置き場の掃除をしているのをみかけたら、協力したい。 	[思判表]カード [態度]カード

単元名	自然災害から暮らしを守る(オリエンテーション)		教科書のページ	p.76～77
配当時数	1時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容 (3)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション		★他教科との関連: 理科	
<p>・わたしたちが住んでいる県では、どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。</p> <p>p.76～77</p>	1	<p>①私たちの住んでいる静岡県の地形と自然災害の様子を確かめ、気づいたことや考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県は山があつて海に面してもいる。 ・だから自然災害も多いのかな。 ・いつ起きるかわからない地震にはどんな取り組みをしているのか。 	[思判表]ノート, 発言
		<p>めあて 地震から人々を守る活動について、調べてみましょう。</p>	

小単元名	1. 地震からくらしを守る			教科書のページ	p.78～95
配当時数	9 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

小単元の目標		<p>自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとし、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする。</p>
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。 調べたことを年表や図表、文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、問いを見だし、災害から人々を守る活動について考え表現している。 自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、その働きを考えたり、学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 地震が起きたら			
<p>・つかむ 地震によって、どのようなことが起きるのでしょうか。</p> <p>p.78～79</p>	1	<p>①わたしたちの住んでいる静岡県では過去にどのような地震災害が起こったか知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊豆半島で起きた地震は大きかったとお父さんが言っていた。 <p>②地震災害年表でも確かめてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東南海地震というものもあった。 こうしてみると静岡県は地震が多いね。 <p>③写真や地図を見て気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物が壊れて、道路にひびが入っている。 火事も怖いけど津波も怖いよね。 この先、どんな対策をしているのだろう。 	[思判表]発言、ノート

(2) 地震とわたしたちの暮らし			
<p>・つかむ 地震によって、わたしたちの暮らしはどうかを考え、学習問題をつくりましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.80～81</p>	1	<p>①前時と本時の写真をみて、地震がわたしたちの暮らしに与える影響や気づいたことについて話し合い、疑問から学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や建物が壊れて住めない。 ・学校の体育館にたくさんの人が避難して生活しているのをテレビで見たことがある。 ・私たちだけの力ではどうしようもない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題 地震から暮らしを守るために、だれがどのようなことをしているのでしょうか。</p> </div> <p>②地震が起きる前と起きた後で、だれが、どのようなに着目して予想を立て、学習計画を立てる。</p>	[思判表]発言, ノート
(3) 家庭でそなえているもの			
<p>・調べる 家庭では、どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.82～83</p>	1	<p>①家庭では地震に備えてどのような取り組みをしているか、調べてきたことをカードに書いて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難用のリュックを準備している。 ・転倒防止の金具をたんすや食器棚につけている。 ・避難場所を家族で決めている <p>②書いたカードを、地震が起きる前の準備や備え、起きた後の協力や対策について分けてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難用のリュックは準備。 ・災害伝言ダイヤルは対策。 ・準備と対策が大切だね。 	[知技]ノート, インタビューメモ
(4) 学校や通学路でそなえているもの			
<p>・調べる 学校や通学路では、どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.84～85</p>	1	<p>①学校や通学路ではどのような準備や対策をしているか、インタビューや調査活動をしてわかったことを起きる前と起きた後に分けて発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をしている。 ・通学路にも防災倉庫がある ・公園のブランコがテントになるらしい。 <p>②前時の家庭でそなえていることについての学習と比べて似ているところや違うところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起きる前の準備と起きた後の対策をしているところは同じ。 ・学校は人数が多いので避難訓 	[知技]ノート, インタビューメモ

		練を何度もしたり，多くの食料を準備したりしなければならない。	
(5)市の取り組み			
<p>・調べる 市役所では，どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.86～87</p>	1	<p>①浜松市ではどんな準備や対策をしているか，インタビューや調査活動をしたり，市のパンフレットやホームページを見たりしてわかったことを災害が起きる前と起きた後に分けて発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を立てている。 ・津波に備えて大きな防波堤を建設している。 <p>②浜松市の海側の津波の被害が予想される地域では，特にどのような準備や対策が取られているか考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも高台に避難できるように津波避難ビルがあるらしいよ。 ・津波から身を守るための避難方法を示すパンフレットも見ただことがあるよ。 	[知技]ノート，インタビューメモ
(6)市と住民の協力			
<p>・調べる 市と住民は，どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.88～89</p>	1	<p>①浜松市と地域住民はどのように連携しているか，調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の人と地域の代表の人が話し合いをしている。 ・市全体の避難訓練に参加してもらう。 <p>②浜松市と地域住民は連携・協力して，どのような準備や対策をしているか，インタビューをしたり，市のパンフレットやホームページを見たりしてこれまでの学習を生かして発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の人と一緒に避難行動計画を立てている。 ・ハザードマップをつくるときは地域の人の意見が大切。 	[知技]ノート，インタビューメモ
(7)住民どうしの協力			
<p>・調べる 住民どうしでは，どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.90～91</p>	1	<p>①地震災害などが起きたときのために，住民どうしが協力してつくっている地域の防災組織について調べ，わかったことや考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には自主防災隊という自主防災組織が作られている。 ・自主防災隊はなぜつくられた 	[知技]ノート，インタビューメモ

		<p>のだろう。</p> <p>②自主防災隊にはどんな組織班があって、どんな役割をしているか調べてわかったことを整理しよう。</p> <p>③自主防災隊を機能させるためには、日頃からどんな関わりを地域住民同士がしていなくてはならないか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣にどんな人が住んでいるか確かめる。 ・防災倉庫の中身を一緒に確かめておく 	
(8) 地震からくらしを守る取り組みをまとめる			
<p>・まとめる 地震からくらしを守るための、家庭や学校、市や地いき住民の取り組みについて、まとめてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.92～93</p>	1	<p>①学習問題をもとに、家や学校、市や地域の取り組みについてわかったことや考えたことをカードに書く。</p> <p>②それぞれの取り組みについてカードを整理して比べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの立場でも地震が起こる前は準備が大切。 ・まずは自分の身は自分で守ることが一番。 ・自助と共助で何日間か持ちこたえなければならない。 ・大きな工事は役所や国に頼まないといけない。 <p>③学習問題について考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにできることは何だろう。 	<p>[知技]カード，発言</p> <p>[思判表]カード，発言</p>
(9) ひなん所シミュレーション			
<p>・いかす 地震が起きて、学校がひなん所になった場合、自分はどうするか考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.94～95</p>	1	<p>①地震からくらしを守るために、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできること、やるべきことがある。 <p>②もしも学校の体育館が避難所になったら、あなたはどうしますかという「避難所シミュレーション」というゲームをみんなでやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてこれを選んだか理由が大切。 ・いろいろな考えがあるから、正解はないけど、避難所ではよく考えて行動しないとけない。 	<p>[思判表]発言，ゲーム</p> <p>[態度]発言，ゲーム</p>

単元名	きょう土の伝統・文化と先人たち(オリエンテーション)		教科書のページ	p.100～101
配当時数	1時間	活動時期	10月	学習指導要領の内容 (4)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
<p>わたしたちの身のまわりにはどのような古いものがあるでしょうか。</p> <p>p.100～101</p>	1	<p>①それぞれが今までに気づいた古いものについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・××には古いお祭りがある。 ・昔から続く芸能がある。 ・京都の古いお寺に行ったことがある、など。 	[思判表]発言
		<p>めあて 県内には、どのような古いものが残されているでしょうか。また、きょう土のはってんにつくした人々は、どのようなことをしたのでしょうか。</p>	

小単元名	1. 残したいもの 伝えたいもの			教科書の ページ	p.102～113
配当時数	9 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要 領の内容	(4)ア-(ア)ウ, イ-(ア)

小単元の目標		県内の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受けついできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとする。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 調べたことを年表や文などにまとめ、県内の文化財や年中行事には地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、問いを見だし、県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。 文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことを基に地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 県内の文化財や伝統行事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 県内の伝統・文化			
<ul style="list-style-type: none"> つかむ 県内にある古くから残るものを出し合って、学習問題をつくりましょう。 <p>p.102～103</p>	1	①県内にある古くから残るものについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 古い建物がある。 昔からの芸能がある。 地域の人たちが大切にしている踊りがある。など ②学習問題をつくり、学習計画を立てる。	[思判表]発言
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習問題 県内にある古くから残るものには、どのような願いがこめられ、どのように受けつがれてきたのでしょうか。 </div>			
(2)(3) 古くから残る県内の建物			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる 古くから残る建物は、どのように守られてきたのでしょうか。 <p>p.104～105</p>	2	①具体的な建物を一つ取り上げて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> インターネット、図書館の本、博物館、などで調べる。 保存会など関係者に電話などでインタビューする。 可能であれば見学する。 ②調べてわかったことをもと	[知技]ノート，発言

		に，考えたことを話し合う。 ・建造年，建造の目的，改築などの変化。 ・保存会など関係者の取り組みについて。	
(4)(5) 古くから伝わる県内の芸のう			
・調べる 古くから伝わる芸のうは，どのように受けつがれてきたのでしょうか。 p.106～107	2	①具体的な一つの芸能を取り上げて詳しく調べてみる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ②写真や資料で確認しながら，わかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・時代による祭りの変化 ・祭りにおける人々の協力関係。 ・地域の人たちの誇りについて，など。	[知技]ノート，発言
(6)(7) 昔から続く県内の祭り			
・調べる 昔から続く祭りには，どのような願いがこめられているのでしょうか。 p.108～109	2	①具体的な祭りを一つ取り上げて調べる。 ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ②写真や資料を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。 ・祭りが行われる時期，目的，形態，担い手，祭りの変化について，など。	[知技]ノート，発言
(8) 古くから残るものについて年表にまとめる		★他教科との関連:算数	
・まとめる 県内にある古くから残るものについて，年表にまとめてみましょう。 p.110～111	1	①これまでに調べたことを発表して，年表にまとめる。 ・およその年代，重要な変化，その背景などがわかるように作成する。 ②つくった年表を見て，それぞれに共通することや違う点など，気づいたことを話し合う。 ・地域で残されてきたものにはどのようなものがあるか。 ・それらの古いものには，どのような思いや願いがこめられているか。 ・それらを保存・継承している人は，どのような工夫や努力をしているか。	[知技]年表，発言 [思判表]年表，発言

(9) 身近な地いきを見直そう			
<p>・ いかす 地いきに古くから残るものを受けつぐために、自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.112～113</p>	1	<p>①学習してきたことを生かして、地域に伝わる古くからあるものをどのように保存・継承していくか、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な担い手としてできること。 ・地域の一員としてできること。 ・新たな改善・創造の工夫。 <p>②実際に地域の行事を体験したり、課題解決のために情報を発信したりする取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能クラブへの参加。 ・ポスターの作成。 	<p>[思判表]発言，作品 [態度]発言，作品</p>

小単元名	2. 谷に囲まれた台地に水を引く			教科書のページ	p.114～131
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(4)ア-(イ)ウ, イ-(イ)

小単元の目標		県内の先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ・ 調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見だし、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について考え表現している。 ・ 先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 石でできた橋			
<ul style="list-style-type: none"> ・ つかむ 通潤橋とそのまわりの地形から、どのようなことがわかるか、話し合しましょう。 p.114～115 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①通潤橋の写真を見て、気づいたことを発表する。 ・ 真ん中からすごい勢いで水がふき出している。 ・ 橋の下が丸い形になっている。 ②なぜ、このような橋をつくったのか考える。 ・ 空から見ると、谷が深いよ。どこかどこかを結ぶ道をつくりたかったのかな。 ・ 橋から水がふき出していることと何か関係があるのかな。 	[思判表]発言, ノート
(2) 人々の願い			
<ul style="list-style-type: none"> ・ つかむ 白糸台地に住んでいた人々の願いと地形の特ちょうをもとに、学習問題をつくりましょう。 p.116～117 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①白糸台地の地形に関する写真を読み取る。 ・ 深い谷に囲まれている。 ・ 水を確保するのも川まで降りるのが大変だ。 ②白糸台地でくらす人々の願いについて調べる。 ・ 農業用水が十分でない。 ・ 何とかして水を引きたい。 ③学習問題をつくる。 ・ どうやって橋をつくったのだろう。 ④学習問題について予想し、学習計画を立案する。 	[思判表]発言, ノート

		学習問題 布田保之助は、どのようにして通潤橋をつかったのでしょうか。	
(3)(4) 用水路としての通潤橋			
<p>・調べる 保之助は、どこからどのようにして、白糸台地に水を引こうとしたのでしょうか。</p> <p>p.118～119</p>	2	<p>①人物年表などから布田保之助について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの庄屋のまとめ役。 ・51才で通潤橋を作り始めた。 <p>②イラスト、地図などを活用して用水がどのように送られているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約6kmも離れた笹原川から水を引いている。 ・白糸台地は台地なので、低い所から水を送る工夫が必要。 	[知技] 発言, ノート
(5)(6) 水を送るくふう			
<p>・調べる 深い谷に囲まれた台地に、どのように水を送ったのでしょうか。</p> <p>p.120～121</p>	2	<p>①白糸台地の地図などから地形の様子を読み取り、水を送るのに、どのような問題点があったのか、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわりの谷が深くなっているため、まわりの川から水を取りにくい。 ・高い所へ水を送る工夫が必要。 <p>②布田保之助が土地の高い土地にどのようにして水を送ったのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水が落ちる力を利用した。 ・管を木ではなく、石にした。 	[知技] 発言, ノート
(7) 石の管と橋の形のくふう			
<p>・調べる 水が石のすきまからもれないように、どのようなことをしたのでしょうか。</p> <p>p.122～123</p>	1	<p>①水が石のすきまからもれないようにどのようなことをしたのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も実験を繰り返した。 ・特別なしっくいをつないだ。 <p>②橋が石の重みや水のいきおいでくずれないように行った工夫を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチ型の石橋 	[知技] 発言, ノート
(8) じょうぶな橋にするために			
<p>・調べる 石工たちは、じょうぶな橋にするために、どのようなことをしたのでしょうか。</p> <p>p.124～125</p>	1	<p>①人物年表などから橋本勘五郎について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん橋をつくった。 ・明治政府に招かれた。 <p>②石工たちが丈夫な橋にするために行った工夫を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城の石垣を参考にした。 ・石橋づくりの手順 	[知技] 発言, ノート
(9) 人々のくらしの変化			★他教科との関連:算数
<p>・調べる 通潤橋ができて、人々のくらしはどのように変わったのでしょうか。</p> <p>p.126～127</p>	1	<p>①通潤橋ができて、人々のくらしがどのように変わったのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白糸台地の写真や棒グラフ 	[知技] 発言, ノート

		<p>「通潤橋ができた前後の田の広がり方」から、土地利用の変化を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路は今も使われている。 ・この地いきの人々にとってなくてはならないものである。 	
(10) 熊本地震と通潤橋			
<p>・調べる 山都町や熊本県の人々は、どのようにして通潤橋を残していこうとしているのでしょうか。</p> <p>p.128～129</p>	1	<p>①2016年の熊本地震の際、通潤橋はどうなったのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年の熊本地震で通潤橋にひびわれなどが起こった。 ・大きな影響があった。 <p>②どのようにして通潤橋を残していこうとしているか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の農業をする若者が中心になって支援を集めようとする動き。 ・清掃活動のボランティア ・通潤橋は地域の宝。 	[知技]発言, ノート
(11)(12) 表彰式をしよう			
<p>・まとめる 布田保之助と石工たちにわたす表彰状をつくり、表彰式を行いましょ。</p> <p>p.130～131</p>	2	<p>①調べたことをもとに、表彰状をつくり、表彰式を行う。</p> <p>②ほかのグループの表彰式を見るなどすることをおして、布田保之助や石工たちの功績について改めて考えたことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布田保之助をはじめ、多くの石工や村人の働きがあつて、人々の生活がよりよいものになった。 	[思判表]発言, 作品 [態度]発言, 作品

単元名	特色ある地いきと人々の暮らし(オリエンテーション)		教科書のページ	p.140～141
配当時数	1時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容 (5)

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) オリエンテーション			
<p>・わたしたちが住む県には、どのような特色をもった地いきがあるのでしょうか。</p> <p>p.140～141</p>	1	<p>①県内各地の写真を見て、地域の特色や人々の暮らしについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に石巻市雄勝町でつくられた伝統的工芸品のすずりがある。 ・仙台市で行われた地球フェスタに参加したことがある。 ・松島町は、宮城県を代表する観光地である。 ・登米市登米町は、「みやぎの明治村」とよばれ、多くの古い建物がある。 	[思判表]ノート
		<p>めあて 県内の特色ある地いきについて調べ、自分たちの地いきとくらべてみましょう。</p>	

小単元名	1. すずりをつくるまち・石巻市雄勝町		教科書のページ	p.142～149
配当時数	7時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容 (5)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 600年のれきしがある雄勝すずり			
<ul style="list-style-type: none"> つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 <p>p.142～143</p>	1	①雄勝すずりのパンフレットや資料などを見ながら、気づいたことについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> すずりは、わたしたちも書写の時間に使っている。 600年前から手作りで続いている。 震災で大きな被害を受けた後、雄勝すずりは、どうなっているのだろう。 どのようにしてすずりづくりを伝えてきたのだろうか。 ②話し合ったことをもとに、学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。	[思判表]発言、ノート
		学習問題 雄勝町では、雄勝すずりをどのように守り、伝えているのでしょうか。	
(2)(3) 雄勝すずりをつくる			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる 雄勝すずりは、どのようにつくられているのでしょうか。 <p>p.144～145</p>	2	①雄勝すずりはどのようにつくられているのか、県学したり資料を活用したりして調べ、ノートなどにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 原料の雄勝石は、工房の後ろ 	[知技]発言、ノート

		<p>の山でとれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずりづくりは、石の用意、ほり、みがきと分業で行っている。 ・一つずつ手作業で、ていねいに仕上げている。 ・すずりは、のみでほってつくる。 	
(4)(5) すずりづくりを守る		★他教科との関連:書写	
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 震災の後、すずりづくりを守るために、どのような活動があったのでしょうか。 <p style="text-align: right;">p.146～147</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①東日本大震災の際、雄勝町が受けた被害について知る。 ・海に面した雄勝町は、津波の大きな被害を受けた。 ・すずりづくりの工房も道具もすべて流され、すずりづくりはできなくなった。 ②震災の後、すずりづくりを守るために、どのような活動があったのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・様々な人々が、協力して動きだした。 ・2012年にできた新しい東京駅の屋根には、ボランティアが集めた雄勝石が使われた。 ・2014年には、仮設工房が完成し、すずりづくりをする場所ができた。 	[知技]発言, ノート
(6) まちの復興の中心に			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 雄勝すずりを残し、伝えるために、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 <p style="text-align: right;">p.148</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①雄勝すずりを残し、伝えるために、どのような取り組みをしているか資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・雄勝石を使った作品づくりの体験会を再開した。 ・マイすずりづくりを行っている。 ・新しい伝統産業会館を建てた。 	[知技]発言, ノート
(7) 4コマ CM		★他教科との関連:国語	
<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる すずりをつくる雄勝町について調べたことをもとに、4コマCMをつくろう。 <p style="text-align: right;">p.149</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①すずりをつくる雄勝町について、調べたことをもとに4コマCMをつくる。 ・雄勝町の特徴 	[思判表]発言, 作品 [知技]ノート, 発言, 作品

小単元名	2. 国際交流に取り組むまち・仙台市		教科書のページ	p.150～157
配当時数	7時間	活動時期	2月	学習指導要領の内容 (5)ア-(ア)(イ), イ-(ア)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 仙台市に住む外国のかた		★他教科との関連:算数, 国語	
<ul style="list-style-type: none"> つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 <p>p.150～151</p>	1	①写真や統計資料などから、気づいたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 「せんだい地球フェスタ」には外国の人たちがたくさん参加している。 仙台市に住む外国人は増えている。 ②学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。	[思判表]発言, ノート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習問題 仙台市では、外国の人々とどのような交流をし、共にくらすためにどのようなまちづくりをしているのでしょうか。 </div>			
(2)(3)国際交流の取り組み		★他教科との関連:外国語	
<ul style="list-style-type: none"> 調べる 仙台市は、どのような国際交流をしているのでしょうか。 <p>p.152～153</p>	2	①仙台市はどのような国際交流をしているか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 仙台市は国際姉妹都市や国際友好都市など、現在九つの都市と交流している。 	[知技]発言, ノート
(4)(5) 交流から共生へ			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる SenTIA では、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 <p>p.154～155</p>	2	①SenTIA では、どのような交流の取り組みが行われているか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。	[知技]発言, ノート

		<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市では，市と SenTIA が協力して交流活動や共生するための取り組みを行っている。 ・SenTIA は，主に外国人向けにサポートする取り組みをしている。 	
(6) 共にくらす			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 市民は，共にくらすために，どのような取り組みをしているのでしょうか。 <p style="text-align: right;">p.156</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①市民が共にくらすためにどのような取り組みをしているのか，資料を活用して調べ，まとめ，話し合う。 ・東日本大震災では，外国人住民も避難所にたくさん集まった。 ・外国人も防災訓練を行っている。 	[知技] 発言，ノート
(7) 4コマ CM			
<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる 国際交流に取り組む仙台市について調べたことをもとに，4コマCMをつくろう。 <p style="text-align: right;">p.157</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①国際交流に取り組む仙台市について，調べたことをもとに4コマCMをつくる。 ・仙台市の特色 	[思判表] 発言，作品 [知技] ノート，発言，作品

小単元名	3. 美しい景観を生かすまち・松島町			教科書のページ	p.158～165
配当時数	7時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容	(5)ア-(7)(イ), イ-(7)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 美しい景観			
<ul style="list-style-type: none"> つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 <p>p.158～159</p>	1	①写真や統計資料などから、気づいたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 松島はたくさん島がある。 松島は景色がとても美しい。 東日本大震災の後、観光客が減ってしまった。しかし、その後少しずつ増えている。 ②学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。	[思判表]発言、ノート
		学習問題 松島町では、美しい景観を生かしてどのようなまちづくりをしているのでしょうか。	
(2)(3) 自然ゆたかでれきしある景観を守る			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる 松島町は、どのようにして景観を守っているのでしょうか。 <p>p.160～161</p>	2	①松島町は、どのようにして景観を守っているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 町は、松の手入れをしている。 景観を守るためのきまり（景観条例）をつくっている。 勉強会を開いている。 	[知技]発言、ノート

(4)(5) 松島湾の景観とまちづくり			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのでしょうか。 p.162～163 	2	<ul style="list-style-type: none"> ①松島町は、景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・遊覧船で湾の景色を楽しむことができるようにしている。 ・外国人観光客向けに、数ヶ国語のパンフレットをつくっています。 ・世界の松島湾を目指し、地元に住んでいる外国人から見た松島町のよさを、インターネットを使って海外にも発信している。 	[知技]発言, ノート
(6) 景観を生かしていく			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる これからも景観を生かしていくために、どのようなことが行われているのでしょうか。 p.164 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①これからも景観を生かしていくためにどのような活動が行われているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・小中学生の「松島子ども英語ガイド」は、外国人観光客に英語で観光案内をする。 ・松島高校には「観光科」がある。 	[知技]発言, ノート
(7) 4コマCM			
<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる 美しい景観を生かす松島町について調べたことをもとに、4コマCMをつくろう。 p.165 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①美しい景観を生かす松島町について、調べたことをもとに4コマCMをつくる。 ・松島町の特徴 	[思判表]発言, 作品 [知技]ノート, 発言, 作品

小単元名	3. 古いまちなみを生かすまち・登米市登米町			教科書のページ	p.166～173
配当時数	7時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容	(5)ア-(7)(イ), イ-(7)

単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。
単元の観点別評価規準	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見だし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)「みやぎの明治村」			
<ul style="list-style-type: none"> つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 <p>p.166～167</p>	1	①写真や統計資料などから、気づいたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 登米町には、明治時代に建てられた建物がたくさん残っている。 登米町は、古いまちなみが残っていて「みやぎの明治村」と呼ばれている。 ②学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。	[思判表]発言、ノート
学習問題 登米町では、伝統的な文化ざいやまちの景観を生かして、どのようなまちづくりをしているのでしょうか。			
(2)(3) 伝統的な文化ざいとれきしある景観を守る			
<ul style="list-style-type: none"> 調べる 登米町では、どのようにして景観を守っているのでしょうか。 <p>p.168～169</p>	2	①登米町では、どのようにして景観を守っているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 明治時代の建物だけでなく、江戸時代の武士の家もたくさん残されている。 県や市によって文化財に指定されたものがたくさんある。 	[知技]発言、ノート

		・町は、30年ほど前から古い建物やまちなみの景観の景観の保存に力をいれてきた。	
(4)(5)「みやぎの明治村」の景観とまちづくり			
・調べる 景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのでしょうか。 p.170～171	2	①明治村の景観を生かしたまちづくりは、どのように行われてきたのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・教育資料館では昔の給食体験をしている。 ・地域に住む方による、明治村の観光ガイドがいる。 ・江戸時代から伝わる祭りも行われている。	[知技]発言, ノート
(6) 景観を生かしていく			
・調べる これからも文化ざいや景観を生かしていくために、どのようなことが行われているのでしょうか。 p.172	1	①これからも文化ざいや景観を生かしていくために、どのようなことが行われているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・小学生が卒業制作で教育資料館の絵をかいたり、校舎の清掃活動を行ったりしている。 ・PR動画を作成した。 ・多言語ガイドペンをつくり、活用している。	[知技]発言, ノート
(7)4コマCM			
・まとめる 古いまちなみを生かす登米町について調べたことをもとに、4コマCMをつくろう。 p.173	1	①古いまちなみを生かす登米町について、調べたことをもとに4コマCMをつくる。 ・登米町の特色	[思判表]発言, 作品 [知技]ノート, 発言, 作品

本時のめあて	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 特色ある地いきと自分たちのまちのよさを伝えよう			
・いかす 県内の特色ある地いきと自分たちのまちのよさを、県外の人に伝えてみましょう。 p.174～175	1	①これまでにつくった4コマCMや、写真を整理する。 ②特色ある地域と比べながら、自分たちのまちについて気づいたことを話し合う。 ③県外の人にタブレットで写真を見せるなどして。特色ある地域と自分たちのまちのよさを説明する。	[思判表]発言, 作品 [態度]ノート, 発言, 作品